

平成30年度第1回高石市介護保険事業等計画推進委員会 議事録

○事務局

それでは、お時間となりましたので、ただいまより、高石市介護保険事業等計画推進委員会を始めさせていただきます。

それでは、本日配付しております資料の確認をお願いいたします。

(資料の確認)

配付漏れ等ございませんでしょうか。

それでは、新たに委員として委嘱させて頂いている方もおられますので、順に委員の方々のお名前を読み上げ、ご紹介させていただきます。

○事務局

(各委員の紹介)

なお、本日は、高石市医師会の矢田委員が欠席されますので、高石市医師会副会長の野木様出席されておりますので、よろしく申し上げます。

○事務局

開会に先立ち、高石市の保健福祉部長の中島から一言ご挨拶を申し上げます。

(保健福祉部長あいさつ)

○事務局

それでは、議事に入らせていただきますので、古川委員長、議事進行賜りますようお願いいたします。

○委員長

みなさんこんにちは。歯科医師会の古川と申します。本日も、どうぞよろしくお願いいたします。

高石市高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画の策定について、皆様から様々なご意見をいただいております。本日は、事務局よりその進捗状況の報告と第8期計画に向けての準備がテーマであると聞いておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本会議の出席状況について、事務局より報告をお願いいたします。

○事務局

本会議の出席状況でございますが、本日は委員15名に対し、11名の出席と、半数以上のご出席をいただいておりますので、本委員会は成立しておりますことをご報告させていただきます。

○委員長

会議は、成立しているということでございます。

それでは、今後は次第に沿った形で、委員会をすすめたいと存じます。

<< 案件1 >>

○委員長

では、まず、案件1「高石市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況等について」、及び「第8期計画策定に向けたアンケート調査について」事務局よりご説明願います。

○事務局

【「資料：介護保険制度を取り巻く状況と今後」に沿って説明】

(平成31年2月25日厚生労働省老健局社会保障審議会介護保険制度を取り巻く状況と今後について説明)

- ・後期高齢者の増加（75歳以上の割合が国全体で8人に1人）
- ・軽度の要介護認定者増
- ・介護保険料は消費税増税に伴い、世帯全員が非課税の層（第1～3段階）に対して国が公費を投入して引き下げる予定。高石市においても国の方向性のとおり軽減を強化する方向で努める。
- ・今後、第8期介護保険次号計画では全世代型（年齢ではなく負担能力に応じて負担する）が主流となることが見込まれる
- ・市町村の自立支援の取り組みを支援するため、保険者機能強化推進交付金を交付し、保険者の様々な取り組みの達成状況に対する評価を行っている

【介護保険サービスの未利用者調査】

要介護認定を受けながら介護保険サービスを受けていない方に対して調査を実施し、要介護認定申請を出すきっかけを把握する

【介護保険参入意向調査】

各事業所からの参入ニーズを調査することにより、給付実績の供給量を把握する

○委員長

事務局より説明を受けたわけですが、この内容等について質問・意見等がありましたら挙手をお願いいたします。

○委員

居住地区は校区別になっていないのでしょうか。民生委員の中では、現在8区という考え方ではなく、校区ごとの7区で考えているため、質問させていただきました。

○事務局

本調査においては住所別で記載させていただいております。介護保険事業計画における圏域という考え方では小学校区ごとの7区や中学校区ごとの3区で考えさせていただいております。

○医師会

地域包括ケアシステムは介護のみでなく、老人や障がいも含めたシステムであることから、介護も含めて人材の確保が必要だと考えます。在宅での生活を推奨するには、現実的に地域特性や高石市の規模感でどこまで出来るのかを踏まえて検討を行わないといけないと思います。

○事務局

介護保険人材の確保は、第7期計画でも重点課題としてあげております。高石市のみで考えるのではなく大阪府も含めて検討している課題であり情報収集を行っているところです。

○委員

介護保険サービスの未利用調査について、何人程度に実施する予定でしょうか。また、集計後の方向性を教えてください。

○事務局

調査の対象者は介護保険システムにおいて無作為で、要支援・要介護各100名程度抽出する予定です。結果は第8期介護保険事業計画の策定に活用します。

○委員

先ほど介護人材の不足という話がありました。参入意向調査において、少数だとは思いますが、介護人材が過剰な理由を記載いただく欄を設けていただければ、参考になるかと考えます。

○事務局

今回の調査に関してはこのフォーマットで実施する予定ですが、過剰と答えた事業所に対して個別に聞き取りを実施するなど、詳細については確認していきたいと考えます。

○委員長

次の案件に移らせていただきます。

<< 案件2 >>

○委員長

続きまして、「認知症初期集中支援チーム事業実施報告」につきまして、事務局より説明をお願いします。

○事務局

【「資料：(当日配布資料)」による説明】

・本委員会委員が認知症初期集中支援チーム検討委員会を兼ねるため、この場にて報告させていただきます

・平成28年1月に設置。これまでの総計で29件支援を行っている。今年度は9件の支援を実施。うち、介護サービス導入に至ったケースは1ケース、現在訪問を繰り返し家族と調整を行い、来年度に持ち越すケースが3件。

・初期集中支援チームのメンバー、流れ、現在の支援対象者の状況について説明

・平成29年度から、徘徊等の高齢者を警察が保護した場合、市町村に報告文書が届くという制度を実施。高石市は107件とかなり多い数となっている。

・認知症ケアパスの中に書かれている状況より更に認知症が進んだ状況で認知症初期集中支援チームに繋がるという現状があるため、今後はより初期の段階で認知症を把握し、サービスに繋がるように努めたい。本人やご家族に認知症の理解が乏しいため、認知症ケアパスを使い周知を行いたい。

○委員長

事務局より説明を受けたわけですが、この内容等について質問・意見等がありましたら挙手をお願いいたします。

○委員

現在本チームはどの規模の体制が取れているのでしょうか。

○委員長

現在、認知症初期集中支援チームは全員兼務となっていることから、医療機関から繋いでいただく場合には、ある程度本チームの役割や方向性を説明いただいた上で入っていただければスムーズに繋ぐことができます。また、地域包括支援センターでも別途相談を受けて動いていただいている部分もあります。

○委員長

以上をもちまして、本日の案件は修了いたしました。事務局から何かございますか。

○司会者

今後の高石市介護保険事業等計画推進委員会については、別途ご連絡させていただきたいと思えます。

○委員長

それでは、以上をもちまして、平成30年度第1回高石市介護保険事業等計画推進委員会をこれで終わらせていただきます。ありがとうございました。